

## 空母艦載機の岩国飛行場への移駐について

- E-2Dは、2月に第5空母航空団の一員として加わり、岩国に飛来し、E-2CからE-2Dに部隊更新する。
- E-2Dは、2、3ヶ月程度、岩国飛行場に前方展開し、配備前訓練を実施した後、一旦、空母ロナルド・レーガンに搭載されることになる。
- 第5空母航空団の厚木飛行場から岩国飛行場への移駐は、2017年後半に開始される予定であるが、早ければ2017年7月以降、空母ロナルド・レーガンが横須賀に寄港する時期になる。
- 移駐計画は、今後の米側の運用により変更があり得る可能性があるが、現時点における具体的な移駐計画は、次のとおり。
  - 2017年11月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
  - 2018年1月頃、EA-18Gの部隊及びC-2の部隊が岩国へ移駐
  - 2018年5月頃、FA-18(スーパーホーネット)の2部隊が岩国へ移駐
- 空母艦載機の移駐に伴い、軍人約1,700人、軍属約600人、家族約1,500人が岩国飛行場へ移動する予定。(合計約3,800人)



FA-18 戦闘攻撃機



EA-18G 電子戦機



E-2D 早期警戒機



O-2 輸送機